

【諮問事項】

「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題に対応する観点から、圏域における地方公共団体の協力関係、公・共・私のベストミックスその他の必要な地方行政体制のあり方について、調査審議を求める。」



第2回総会(平成30年12月18日)提出資料「今後の審議について(案)」

【具体的な検討項目】

- ① 「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題」としてどういったものが考えられるか。また、これにどのように対応することが求められるか。

⇒ 今回の「中間報告(案)」
- ② 「人口減少が深刻化し高齢者人口がピークを迎える2040年頃から逆算し顕在化する諸課題」に対応する観点から、
 - 圏域における地方公共団体の協力関係として、どのようなことが考えられるか。
 - 公・共・私のベストミックスとして、どのようなことが考えられるか。
 - その他の地方行政体制のあり方として、どのようなものが求められることとなるか。
(例) 現行の合併特例法が平成31年度末に期限を迎えることへの対応 等



今後の審議について(案)

- ✓ 「中間報告(案)」においては、2040年頃から逆算し顕在化する地方行政の諸課題とその対応方策について、分野横断的に整理を行ったところ。
- ✓ 今後は、中間報告(案)の「あとがき」に即して調査審議を進める。

----- 「2040年頃から逆算し顕在化する地方行政の諸課題とその対応方策についての中間報告(案)」 -----

あとがき

- 諮問事項のうち、「圏域における地方公共団体の協力関係」等の広域連携に関連する方策については、「(1)ひとに着目した方策」及び「(2)インフラ・空間に関する方策」に共通する「地域の枠を越えた連携」を中心に整理している。
- 「公・共・私のベストミックス」に関連する方策については、「組織の枠を越えた連携」を中心に整理している。
- また、「(3)技術を活かした対応をとるための方策」は、「(1)ひとに着目した方策」及び「(2)インフラ・空間に関する方策」を講じていく基盤となるものであり、これらは、地方行政体制のあり方に大きな影響を与えるものである。
- 当調査会としては、今後、こうした方策を講じていくために求められる地方行政体制のあり方について、この中間報告に対する各方面の意見を踏まえ、地方公共団体の意見を聞きながら、さらに調査審議を続けていく所存である。
 - ※ 上記の3つの方策のほか、「地域のイノベーションを生み出す職員の育成、地方議会への多様な人材の参画促進等」について審議することが考えられる。

- ✓ また、現行の合併特例法が本年度末に期限を迎えることへの対応について、期限が迫っていることから、審議を進める必要がある。